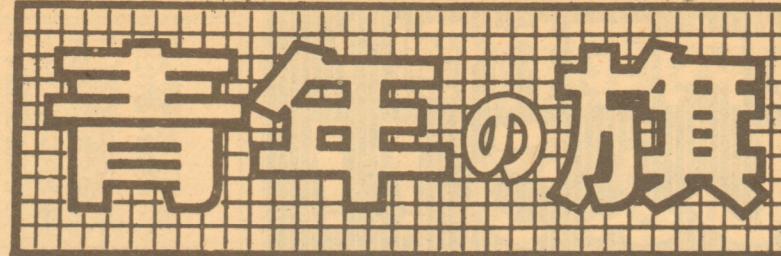


平和と平和共存、反独占民主主義
平和・民主・労働運動統一のために
大衆的青年同盟建設のために



第71号

編集 労働青年同盟(仮称)結成準備会

発行 青年の旗社

振替 東京6-40103 大阪37542 名古屋4650
一部200円、定期購読 年間三千円(送料込み)

人勧完全実施に向け12・16ストを闘う公務員労働者(都庁前集会)

年頭にあたつて

一九八三年の年頭にあたり、労働青年同盟(準)は、労働運動、平和のための闘争、あらゆる民主主義闘争の最先頭で闘う決意を新たにするものである。

[1]

一九八三年は、三大反帝平和勢力にその世界史の推進者として、一層の団結と国際政治へのイニシアの一層の発揮を要請している。資本主義の全般的危機の深化の過程は、今日その度合を一層深めている。帝国主義諸国は内外にわたる経済的、政治的矛盾の激化の中で帝国主義間矛盾を激化させつつも、引き継ぎ軍拡・反動路線を基本路線として強化している。米帝・レーガンとその同盟者達は、「限定核戦争」戦略の具体化に血道をあげている。すなはち、昨年六月、第二回国連軍縮特別総会への妨害行為(「包括的軍縮計画」)をはじめとする軍縮提案は、米帝、NATO諸国、それにより、何よりも、イスラエル・シオニスト政権によるレバノン侵略、パレスチナ人種大量虐殺は、「中東は米国の死活的利益圏」と公言してはばかりない米帝の同時多発報復戦略の具体化に他ならない。また、今年、欧洲への米戦域核ミサイル・パーシングII配備策動、米レーガンによるMXミサイル配備決定(上、下院において予算凍結)はいよいよ「限定核戦争」戦略具体化へ帝国主義陣営ががねばならない。「限定核戦争」戦略——同時に大きく踏み出し、熱核戦争を現実のものに歩近づけるものである。

三大反帝平和勢力は引き続き、全世界を襲う熱核戦争の脅威を除去する闘いに全力を注がねばならない。「限定核戦争」戦略——同時に大きく踏み出し、熱核戦争を現実のもの多発報徹戦略の一つひとつ具体的化を阻止する闘いを有機的に結合し、反核・軍縮の国際統一闘争を強力に推進しなければならない。

一九八〇年を前後してイギリスに始まった恐慌は、世界的規模にまで拡大している。世界同時危機は帝国主義間矛盾を著しく拡大している。対ソ貿易をめぐるEC、日本と米の対立はそれを示した。更にガット閣僚会議は自由貿易体制の強化を確認するどころか、「ユートピア的自由貿易主義」(仮ジョバール貿易相)と保護貿易主義の高まりを抑えることができないことを暴露した。

この世界的恐慌の時期、資本主義諸国経済、生活状態は著しく悪化した。失業者の増大(米、一〇・八%、英、一二・八%、西独、八・二%)、実質賃金の低下、福祉、社会保障費の削減は、米レーガン、英サッチャーに代表される「小さな政府論」による危機乗り切り策の結果である。

しかし、米、西欧諸国階級闘争はこの時人勧完全実施に向け12・16ストを闘う公務員労働者(都庁前集会)

期、重要な特徴をもつてゐる。政治的スローガンのもとにおこなわれるストライキ、大衆行動の規模と重要性が一層増大したこと、つまり、国家権力機関に直接つきつける労働者

階級の政治的諸要求の範囲が大幅に拡大したことである。雇用拡大、インフレ抑制の闘いばかりでなく、國家の社会費削減政策に反対し、反労組立法と組合活動弾圧に反対する闘いも拡大している。こうした労働運動は、増々積極的に平和・軍縮闘争に参加している。

米の労働組合一五〇と社会団体とが提携して

年頭にあたつて

ことである。

この意味で、闘争の性格はその経済的性格から

貸金抑制にどどまらず、これまでの春闘によ

る貸金決定機構の連動を切斷するものであり、

また、教科書有償化が、労働者階級の社会経済的獲得物への攻撃であることは、まさしく

それである。

また、人勧凍結攻撃は国家公務員労働者の

資金抑制にどどまらず、これまでの春闘によ

る貸金決定機構の連動を切斷するものであり、

また、教科書有償化が、労働者階級の社会経

済的獲得物への攻撃であることは、まさしく

それである。

また、人勧凍結攻撃は国家公務員労働者の

資金抑制にどどまらず、これまでの春闘によ

阻止！中曾根自民党内閣打倒！ 戦勝利へ前進しよう！！



八二年は、戦争と平和の問題を巡り、帝国主義と三・二反帝平和勢力の壮絶な攻防が展開された。全地球上を覆いつくした反核・軍縮闘争は、七〇年代デタントが活躍するものであることを証明した。一方、レーガンは、「限定核戦争」戦略の「マルビナス諸島・パレスチナ人民へのイスラエルジエノサイド攻撃に象徴される「同時多発」戦略の実行とともに、その危険性を現実のものとしている。

「和平共存か熱戦核戦争か第二の道はない」八三年はこの選択を自らの行動で選び切ることを三天反帝平和勢力に増々要請している。

八二年は、戦争と平和の問題を巡り、帝国主義と三・二反帝平和勢力の壮絶な攻防が展開された。全地球上を覆いつくした反核・軍縮闘争は、七〇年代デタントが活躍するものであることを証明した。一方、レーガンは、「限定核戦争」戦略の「マルビナス諸島・パレスチナ人民へのイスラエルジエノサイド攻撃に象徴される「同時多発」戦略の実行とともに、その危険性を現実のものとしている。

反帝平和勢力の

国際的統一戦線に合流しよう！！

**帝国主義の「限定核戦争」戦略粉碎！
日本政府の軍国主義強化政策阻止！**

から「実践」における共同体制へと大きく進展しよう

日本安保体制の強化は日本の軍国主義強化政策、特に進展とアメリカによる極東地域に対する最新の核兵器システムに最も重要な今日

反動的野望と対決する統

戦線を創出しよう！

世界的な緊張緩和の防衛す

ることである。

軍縮をめざす闘いに合流す

し、各国の平和運動組織、

民主団体等国際諸団体の結

集を呼びかけている。

日本においても春闇の闘

いを皮切りに広大な平和の

活動が活発化している。

ア・プラハ、六月)を準備

して、

機関紙誌『新時代』の購読を！

ア・プラハ、六月)を準備

して、

